

安心できる 保育園に

国と京都市の責任で、
保育所・待機児童問題の解決を

「保育園落ちた」ブログをきっかけに大きな問題になった待機児童問題。昨年、認可保育園に入れなかった子どもは全国8万3千人に。国は「緊急対策」を打ち出しましたが、詰め込みと保育内容の切り下げで、公的責任を放棄するものです。

京都市の待機児童 583人

京都市は、3年連続待機児童「ゼロ」を発表しましたが、583人が入所を申し込んでも入れていません。

- 認可保育園の整備は目標より100人分少ない
- 民間保育園の統一給与表を廃止
- 市営保育所を民間に移管
- 市立病院青いとり保育園での「全員解雇」などをすすめてきました。

園長先生

保育園の運営のために、定員を超えて受け入れなければならない。

保育士が足りない。
処遇改善の保障を。

保護者

保育園に入所できるかどうかで、保護者どうしが競争させられるのはイヤ!

障害などハンデをもった子どもの保育に、京都市は責任を持ってほしい。

小規模保育の保護者は3歳になったらまた保活。

保育料が高い。
3人目はみんな無料にしてほしい。

小規模保育者

出来高払いで経営が不安定、給与が確保できない。

市立園の保育士

市営保育所は、家庭訪問など地域の子育て支援も担っている。

ところが京都市はどんどん民間に移管。

民間園の保育士

毎日クタクタ。

少ない給料の中から家賃、奨学金返済、食費、光熱費、通信費...結婚も貯金もできない。

日本共産党の提案

緊急に必要です

認可保育園の増設と保育士の賃上げ、はたらく環境の改善

- 国は**
- ★30万人分(3000か所)の認可保育園増設を
 - ★保育園増設のための新たな財政支援を
 - ★保育士の賃金を緊急に5万円上げ、つづけて10万円アップする

京都市は

- ★市営保育所の廃止をストップし、公立、民間の認可保育園をつくる
- ★京都市独自に、民間保育園職員の賃金を引き上げ、保育の質確保を